【令和2年度】

「地元パビリオン出展」に関するアンケート　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

2025年4月13日から同年10月13日にかけて2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマで開催される。また、大阪・関西万博で大阪府市は、地元としてパビリオンの出展を計画している。地元パビリオンの出展参加テーマは「REBORN（リボーン）」であり、「人の生まれ変わり」や「新たな一歩を踏み出す」という意味が込められている。そうした中、大阪府民における地元パビリオンへのニーズや期待を把握し、今後のパビリオン出展計画の方向性を検討するにあたり、本調査を実施する。

1. 調査仮説

仮説１ 「いのち」や「健康」の中でも、高齢層は若年層と比べて、再生医療や認知症の予防・治療への関心が高い。

仮説２　若年層は他の年齢層と比べて、音楽への関心が高く、高齢層は他の年齢層と比べて、日本の伝統芸能への関心が高い。

仮説３ 若年層や中間層は高齢層と比べて、自分のアバター（分身）をつくって新たな活動をすることへの関心が高い。

1. 調査対象

大阪府在住の18～90歳までの男女、各世代（18～29歳、30代、40代、50代、60代以上）200サンプル（男女均等割）、計1,000サンプル

1. 質問項目

予備質問　５問

1. 年齢（NA）
2. 性別（SA）
3. 都道府県（SA）
4. 市町村（SA）
5. 職業（SA）

本質問　９問

1. 大阪・関西万博の認知度（SA）
2. （Q1で「知っている」のみ）大阪・関西万博への興味・関心（ＳＡ）
3. 地元パビリオンが出展されることの認知度（ＳＡ）
4. （Ｑ3で「知っている」のみ）地元パビリオンへの興味・関心（ＳＡ）
5. 興味・関心がある事柄（いのち・健康関連）（表組MA）
6. 興味・関心がある事柄（イベント関連）（MA）
7. その場にいなくてもいるように感じられる体験への興味・関心（SA）
8. アバターを使った体験への興・味関心（MA）
9. 家族構成（子どもの有無、高齢者の家族の有無）（ＭＡ）

検証方法

　仮説１：ＳＣ１×Ｑ５

仮説２：ＳＣ１×Ｑ６

仮説３：ＳＣ１×Ｑ７